

『ママにずっと寄り添う』助産院が誕生

1) 施設名(用途)	お茶畑助産院(助産所)
2) 所在地	静岡県袋井市豊沢 2159
3) 事業実施主体	お茶畑助産院
4) 設計者	(有)こころ木造建築研究所(島田市)
5) 施工者	(株)鈴木建設(掛川市)
6) 竣工年月	令和元年5月
7) 施設概要	在来木造平屋建て
8) 規模(延面積)	建築面積: 211.15㎡(延床面積: 171.42㎡)
9) 主な使用樹種	土台・大引き: 桧 柱・梁: 杉・桧 垂木: 杉 外壁: 杉赤身 天井: 杉
10) 施設の特徴等	『ママになるまで、ママになってもずっと寄り添う助産院』をテーマに地域のお母さんと共に歩む施設として計画した。不安や心配を抱える方に少しでも安心感をもってもらえる施設にしたいという思いから、木の優しさや心地良さを感じる助産院とした。 元々お茶畑として使われていた傾斜のある土地だったが、利用者の動線を考え、室内に段差を設けず建物外部で高低差を解消し、周辺と合わせて植栽の法面をつくることで景観に負担を掛けない建物を考えた。また、妊婦さんや小さな子供が集まる場所としてプライバシーの確保や安心して過ごしてもらえるように、口の字型に囲う空間をつくった。分娩室や診察室は閉じた空間としたが、集会ホールや玄関は、木のルーバー天井を見せた開放的な空間とし、中庭を介して明るい日差しが入るスペースとした。

【施設の画像】

- ①(上段左) 口の字に囲まれた明るく開放的な中庭 ②(上段右) 杉のルーバー天井が印象的な集会ホール
③(下段左) 平屋で低く、周辺のお茶畑の景観に違和感を与えないよう意識した外観
④(下段右) 大きなガラス越しに中庭の見える玄関ホール

